

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価								
				指標	目標値	実績値	指標	目標値	実績値		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標①
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等職員が経営基礎の脆弱な小規模事業者に対して、巡回窓口において経営・金融・税務・労務等の経営全般に係る様々な相談に対応して、企業の経営力を向上させ、健全な企業を持続的成長を支援する。また、創業を計画する者も対象とし経営全般に係る相談指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 375社 ・巡回窓口指導延件数 834件 ・課題解決提案件数 28件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 119.1%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 140.0%)	小規模事業者を対象に巡回訪問、窓口指導での経営全般に係る様々な相談に対応し、また、事業者の経営課題に対し、課題解決に向けた提案指導により、経営及び技術の改善に繋がった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	経営環境が変化するなか、経営力強化に繋がるような巡回窓口指導を連携して行って行く。	○
記帳継続指導	小規模事業者を対象に記帳方法の指導を行うことにより、適正な経理処理や決算、確定申告ができるようになるほか、自計化により経営内容が把握でき、経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数 90人 ・指導延日数 447日 ・指導延回数 1,105回 ・確定申告受付件数 169件	小規模事業者	指標	記帳指導対象者数 (達成度 100.0%)	指標	確定申告受付件数 (達成度 112.7%)	経理事務、決算および確定申告の適正な処理と自計化による経営の現状把握に繋がったことで、経営力の向上に結び付いた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	インボイス登録した免税事業者等への対応と電子申告に向けた記帳継続指導に努めて行く。	
講習会事業	小規模事業者に必要な金融・税務・経営・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させることにより、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。	講習会開催回数及び受講者数 ・集団 1回 2人 (内、経営革新1回 2人) ・個別 11回 99人 講習会受講者数 計 12回 101人	商工会員	指標	講習会受講者数 (達成度 126.3%)	指標	(達成度 %)	集団講習会については広域開催のみ。個別の指導では、小規模事業者の経営に資する情報提供と経営力向上に取り組み意欲の醸成を図ることが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	経済社会の変化に対応できる識見を養う機会を講じることは必要である為、より多数が参加できる方法を工夫して実施する。	○
労働保険事業	商工会が労働保険事務等を代行することにより、小規模事業者の事務処理を軽減するとともに、労働保険制度の適用促進、保険料の適正徴収を図る。	労働保険料の申告、労働保険料の徴収及び納付、労働保険の手続き、労災保険特別加入の申請、雇用保険資格得喪手続きの代行等を行った。 ・新規委託事業所数 5事業所	小規模事業者	指標	新規委託事業所数 (達成度 125.0%)	指標	(達成度 %)	労働保険事務等の代行を通して、小規模事業者の事務処理負担の軽減化が図られたと同時に、労働保険制度の適用促進、保険料の適正な徴収に結び付いた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	労働環境を整備し雇用の維持に繋げて経営の安定化を図って行く。	
部会事業	商業・工業に属する会員の異業種交流の機会として視察研修等の機会を設け、情報交換を行うことにより、それぞれの事業における経営改善および成長を図る。	商業部会・工業部会合同で年1回視察研修を開催 ・視察研修参加者数 計 15人	小規模事業者	指標	視察研修参加者数 (達成度 60.0%)	指標	(達成度 %)	異業種の会員が、本事業を通して経営状況や経済動向などの情報交換を行うことで相互の親睦を深め、地域内での連携を図り経済活性化を図る気運の醸成に繋がった。	総合評価	B	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	変化が著しい経済動向に係る有益な情報提供・交換の機会として参加意欲を喚起する企画を実施して行く。	
青年部・女性部事業	活動を通して交流を深め経営知識の修得や資質向上に対する意欲を醸成すると共に、イベントや奉仕活動などを通じて地域社会の発展に寄与することで地域経済の活性化を図る。	部員増強活動、商工会・行政主催のイベントへの参加、奉仕活動、他商工会青年部との交流、部員間の交流事業、部員の資質向上を図るための研修会の実施 ・新入部員加入数 青年部 4人、女性部 3人	青年部・女性部員	指標	青年部新入部員数 (達成度 200.0%)	指標	女性部新入部員数 (達成度 150.0%)	新規事業活動（青年部チャリティゴルフコンペ、女性部赤ちゃんマルシェ）を実施したことで新入部員獲得に繋げることが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	青年部員・女性部員の経営者としての意識を醸成できて魅力ある組織作りへ努力する。	
若手後継者等育成事業	町内の小規模事業者（若手経営者・後継者等）を対象に、経営力向上を図る目的で展開される多様な施策等の動向について理解し、活用出来るよう識見を深める機会を設け、若手経営者等の育成、経営力向上を図る。	経営力向上に資する各種セミナーの開催 (4回開催) ・講習会参加人数 22人 ・満足度 81.8%	小規模事業者	指標	講習会参加人数 (達成度 55.0%)	指標	アンケートによる満足度 (達成度 116.9%)	新たな情報ツールとしてAIアプリ活用の有効性を理解し、青年部員・女性部員等の経営者が販売促進活動に意欲的に取組む気運を醸成出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	青年部員・女性部員の経営感覚を向上させる為、経営に資する関心度の高いテーマで開催して行く。令和8年度はセミナー開催回数を増やす。	
総合振興事業（産業まつり）	幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行い、地域商店及び地域産業の振興・活性化を図る。	「産業まつり」の会場となる幸田町民会館の周辺において、商品やサービス等の展示及び即売会を行った。 ・出展者数 14事業者	商工業者	指標	商工会関係出展者数 (達成度 140.0%)	指標	(達成度 %)	幸田町が開催する「産業まつり」において、展示・即売会を行ったことで、地域商店及び地域産業の振興・活性化に繋がる機会となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	幸田町と連携を図り、地域商店、地域産業の情報発信の機会として実施して行く。	
総合振興事業（新年賀詞交歓会）	幸田町内商工業者の販路拡大の一助として、商談に繋がる交流会を開催することにより地域経済の活性化を図る。	1月中旬に幸田町民会館にて親睦会を兼ねた商談会・情報交換会を実施 ・参加者数 85人	商工会員	指標	参加者数 (達成度 106.3%)	指標	(達成度 %)	幸田町内の商工業者間での情報交換により、各事業所の事業の活性化及び地域経済の活性化に繋がる機会となった。情報交換の場として企業PRコーナーを設置することで事業者間の交流を促進した。	総合評価	A	実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	町内商工業者と地域経済の活性化を図る機会として、より多くの参加者が参加できるように配慮し開催する。	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 幸田町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価								
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標①	目標②
総合振興事業（街路灯管理事業）	平成元年に商店街のイメージアップと町の防犯を目的に建設した街路灯の維持管理及び経理事務を実施する。	年2回電灯料および組合費の集金のほか、球切れ、故障等への対応を行った 老朽化した街路灯の撤去により安全対策を行った ・街路灯維持管理本数（57本） ・撤去本数（17本）	商工業者	維持管理本数 (達成度 100.0%)	57	57	撤去本数 (達成度 170.0%)	10	17	商店街の看板効果と防犯を目的に建設した街路灯の維持管理を実施したことで、街路灯の安全性が確保出来た。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 上げる 実施方法② 現行どおり	残存する40本の老朽化により安全対策としての撤去事業を行う。
商業振興事業	地域商店のPRの為にイベントの企画・実施により、地域経済の活性化を支援する。	・イベント（マルシェ）の実施（2回） ・11/15 アイボマルシェ ・7/27 怪獣マルシェを協同開催 ・加盟店 17店	商業者	マルシェの開催数 (達成度 100.0%)	2	2	加盟店数 (達成度 113.3%)	15	17	スタンプ事業を廃止し、各種イベントを開催し集客を図り加盟店のPRに繋げる事業を実施した。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	ツバキ会として地域経済の振興を促し、消費者に対する加盟店舗のPRの継続強化を図る。
工業振興事業	各種産業団体に対する経営改善に資する指導の一環として経営ノウハウ等の情報交換を通じて経営環境の整備向上を促すとともに地域の活性化を図る。	額田郡建設業組合 岡崎労働基準協会 ・講習会開催回数 3回 ・参加者数 48人	工業者	講習会参加者数 (達成度 106.7%)	45	48			労働環境整備と安全衛生、労働施策に係る講習会を開催し、経営に関するノウハウの情報交換の機会とする事が出来た。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	工業振興および法令順守を周知する機会を以って、会員事業所の健全な経営を推進する。	
観光振興事業	幸田町の観光資源の開発、特産品を活用した商品開発等により、町内外からの誘客を図ることで地域活性化と商工業の振興を促進する。	・幸田町うまいもん創作委員会の開催 開催数 3回 ・幸田町観光協会事業への協賛参加回数 2回 ・地域商品開発推進事業 実施なし ・地域ブランド商品化事業の実施 福子のメニュー試作(9月～3月) ・ロケッツリズム事業 4件の受入 ・非商店舗活動事業 7/27怪獣マルシェを開催	小規模事業者	委員会開催回数 (達成度 100.0%)	3	3	観光協会事業協賛参加回数 (達成度 100.0%)	2	2	幸田町のタウンプロモーションに協賛し、観光資源、特産品を活用した商品開発事業を行った。7月に怪獣マルシェを開催したが、PR不足の感が否めなかった。また、ファッショナイトイベントで特産品の試作メニューを提供できた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	幸田町の持つ魅力をブラッシュアップして、町内外に訴求できる新たな価値を創出するための活動を展開する。
金融対策事業	各種融資制度の周知案内をすることで地区内における商工業者の金融の円滑化を図る。	融資制度周知案内 ・周知案内回数 1回	小規模事業者	周知案内回数 (達成度 100.0%)	1	1			夏季融資個別相談会及び年末融資個別相談会の周知を1回行い、商工業者の経営の安定化に貢献出来た。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	管内小規模事業者の安定的な経営を支える為、公的融資による運転・設備資金の調達を斡旋する。	
税務対策事業（法人会）	中小企業者の健全な納税意識の醸成を図ることで、企業成と申告納税制度の適正化に寄与する。	・研修会・講習会等の開催 ・幹事会の開催 ・新規会員数 9事業所	商工業者	新規会員数 (達成度 180.0%)	5	9			役員の積極的な新規会員加入勧奨活動により目標を上回る新規会員の獲得に繋がった。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	健全な納税意識の醸成を図り、申告納税制度の適正化に寄与することで、企業の社会貢献に資する事業とする。	
労務対策事業	中小企業従業員の永年勤続の功績を称えと共に今後のさらなる貢献を期待して表彰事業を行う。	通常総代会において勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を授与した ・被表彰者数 24人	中小企に勤務する従業員	被表彰者数 (達成度 240.0%)	10	24			中小企業の永年勤続従業員の功績を称えたことで、従業員満足度を向上させ、今後のさらなる能力向上が期待出来るようになった。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	勤続15年以上は愛知県知事賞、勤続10年以上は幸田町長賞、勤続5年以上は幸田町商工会長賞を表彰する。	
福利厚生事業（各種共済）	中小企業共済制度、愛知火災共済、特定退職金共済、小規模企業共済、中小企業倒産防止共済等の普及推進を行うことにより、中小企業者の福利厚生の増進及び経営の改善に寄与する。	巡回・窓口相談時に各種共済制度を紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所を25件獲得 ・中小企業共済制度 15件 ・愛知火災共済 1件 ・特定退職金共済 1件 ・小規模企業共済 4件 ・中小企業倒産防止共済 4件	商工業者	新規・増口件数 (達成度 83.3%)	30	25			各種共済を推進したことで小規模事業者の福利環境整備に繋がった。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	相談時にメリットの大きな共済を適宜紹介するほか、商工会報に適宜広告を掲載し、新規加入・増口事業所の獲得に努める。	
福利厚生事業（健康診断事業）	中小企業、小規模企業の経営の安定及び雇用の維持を図るため、事業主及び従業員の健康診断事業を実施し、事業主および従業員の健康管理に寄与する。	健康診断 年1回実施 ・参加者数 65人	会員事業所・事業主及び従業員	健康診断参加者数 (達成度 72.2%)	90	65			中小企業、小規模企業の雇用安定に資する事業として、従業員等の健康管理に寄与できた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	職場の健康促進が社会的なニーズとして高まるなか、小規模な事業所における管理体制の整備に貢献する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。